2023 年度

# 野洲市教育研究所だより

No.25

2024.3.7

# 研修観の転換 NITS の変革

近年「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、子どもの学びの変革が行われてきました。が、NITS(独立行政法人教職員支援機構)では教師の研修も見直しが今言われています。

#### 学習観の転換 子どもの学び • 子どもを主語にした学校教育 体験↔表現学習 生きて働く知識・技能の習得等 グループ学習 ICT 活用 • 「個別最適な学び」 プレゼンテーション • 「協働的な学び」 etc 相似形 往 研修観の転換 教師の学び(研修) • 教師の主体性の尊重 「探究型」研修 • 「現場の経験」を重視した学び 教師自らが問いを立てて、 • 「個別最適な学び」 協働的に探究する最先端の • 「協働的な学び」 教師研修

# 「主体的・対話的で深い学び」の実現

## 見えてきた教職員研修の課題

#### 〇「共通言語」がないのではないか

教職員研修の分野には、子どもの学びにおける学習指導要領のようなものがありません。研修提供者が研修を企画・実施・検証し、「質」を改善していこうにも、研修提供者の間に共通理解された「共通言語」のようなものが存在しません。「共通言語」を提示する専門性に乏しく、「新たな教職員の学び」の検討には、「一から」考え、企画・実行することが求められます。

#### 〇前例踏襲になっていないか

「今のやり方ではよくないと思っているが、何をどう考え、どこから手をつけていいかが分からない、悩みを共有し話し合おうにもそのための言葉が見つからない」となり、結果、前例で研修を企画・実施する傾向が強くなっています。

### 〇「研修提供者を主語とした学びではないか」

研修提供者が持つ知識・技能を参加者に理解させ習熟させる研修イメージが強い。「参加者を主語」として参加者自身が「探究」する研修イメージに乏しい。

#### 教職員研修の「質」を上げるために

子どもの学びと教師の学びが<mark>相似形</mark>であるという考えを踏まえ、<mark>学習指導要領における考え方</mark>などを活用し、「探究型研修」を創設します。共通言語(現時点)として、「研修デザインの三角形」と「研修の分類」の二つを提示しています。

### ①「研修デザインの三角形」

「研修日標」「研修内容」「研修方法」の3つの観点から研修を捉え改善サイクルを回す考え方



課題を探究する力や、探究的な学び をデザインし、マネジメントする力

## 研修目標

参加者は研修後に 何ができるようになるか

- •「探究」の趣旨や意義
- ・授業等での「探究的な 学び」のデザイン
- ・学校等としての協働探究 のマネジメント

参加者は研修で何を学ぶか

研修内容

参加者の姿(研修前・研修中・ 研修後)を丁寧に創造・把握 「自ら問いを立て、実践の 振り返りや対話、知識の習 得を重ねながら、実践を展 開することで、自他の価値 観を捉え直し、新たな問い や実践に向かう」持続的な 探究プロセス

参加者は研修を通じて どのように学ぶか

研修方法

**これまでは、**次年度の「研修内容」をどうするか、その内容に応じ、どの講師に依頼 するかという議論に、ほぼ終始していました。

#### ②「研修の分類」

### 「探究」を後押しすることを通じて「課題探究力」の育成を目指す研修

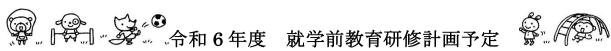
- ・既存の手法や考え方を捉え直すことで、教育実践を再構成し、変革できるようになることを目指します。
- •「これまでの見方や実践を『そもそも』から捉え直してみてほしい」というねらいのもと研修を 実施します。
- •「探究型」は実践を伴わない「探究的省察型」と実践を伴う「探究的省察・実践型」があります。

**これまでは、**研修提供者側が、参加者に対し、自分が詳しい知識や技能についての理解や習熟を求める以下の研修がほとんどでした。

# 知識・技能の理解や習熟を通じて、「課題対応・解決力」の育成を目指す研修

- 特定の手法や考え方を、理解したり、実践に適用したり、使いこなしたりできるようになることを目指します。
- •「〇〇の手法・考え方を知ったり、使ったりして、実践を改善してほしい」 というねらいで研修を実施します。
- ・実践を伴わない「知識・技能理解型」と、実践を伴う「知識・技能習熟型」があります。

以上のように、NITS は、「自律的な学び手」育成のために、子どもの「学習観の転換」と共に、教師の「研修観の転換」から学びの変革を目指しています。その一歩が「共通言語」の確立と「探究型」研修の展開です。子どもの学びと共に教師の学びが変革していきます。





NO	期日 時間	研修講座名	内 容	講師・担当者	対象
1	4月16日(火)	読書活動推進講座	図書館の活用術について	野洲図書館	担当者各園1名
2	5月16日(木)	園長研修	園運営のリーダーシップ と経営責任	未定	園長・副園長・所長
3	5月28日(火)	主査研修	  保育改善と人材育成 	  保育アドバイザー 	主査
4	5月31日(金)	レポート研修 (教育研究所主催)	研究論文の作成について	滋賀県総合教育 センター 講師	中堅受講者 5 年研予定者
5	6月13日(木)	主任研修	人材育成と園内連携について	保育アドバイザー	主任
6	6月25日(火)	保育実技研修①	実技研修①	未定	学級担任等
7	6月27日(木)	人権教育研修①	子ども理解と子どもの人権	市内園園長	学級担任等
8	7月22日(月)	2年次まとめ研修 ①	1 学期の保育を振り返って	保育アドバイザー	受講者
9	7月下旬	就学前講座①	子ども理解と学びの見取り	未定	学級担任等
10	8月1日(木)	保育実技研修②	実技研修②(体力向上)	県研修の伝達研修	学級担任等
11	8月6日(火)	市管理職研修	未定	学校教育課	園長・副園長・所長
12	8月下旬予定	就学前講座②	子どもたちの多様な出会いを 生む保育環境	滋賀大学教育学部 山本 一成さん	各園職員
13	8月20日(水)	人権教育②	差別の現実から学ぶ	馬場 洋子さん	各園職員
14	9月5日(木)	虐待対応研修	現状理解と園での対応	家児相相談員	各園職員
15	11月28日(木)	保育実技研修③	実技研修③	未定	学級担任等
16	12月5日(木)	中堅研修	研究レポート作成に向けて	保育アドバイザー	受講者
17	12月24日(火)	2年次まとめ研修②	2 学期の保育を振り返って	保育アドバイザー	受講者
18	1月16日(木)	中堅報告研修	研究報告会	保育アドバイザー	受講者·学級担任等
19	2月27日(木)	2年次まとめ研修③	年度末まとめ研修	保育アドバイザー	受講者
その出	年間一人8回	2 年次研修 園内研修	訪問指導研修(5名) 各園1回程度	保育アドバイザー	受講者 主任·主査
他	5 年次研究相談	研究レポート相談	各園 1 回程度		応募者

# まなび野洲チャレンジ! 8

今回は、この問題です。正しい答えの番号はどれでしょう。 答えは最下段に載せています。

野洲市に勢力を持っていた武士の家に生まれた祇王。祇王が京の都に上ったときに、その美しさと舞の上手さに心打たれ、祇王を大変かわいがった人物はだれですか。

(1)源頼朝

②崇徳天皇

③平清盛

4平将門



《 嵯峨野に逃れる祇王 》 (国ウ国会図書館提供)

## おすすめの一冊

小学校の先生方へ 春休みにちょこっと読んで、心と頭にビタミンを!



ロケットスタートシリーズ 『学級づくり 授業づくりスキル 授業のミニネタ』 多賀 一郎 監修 土作 彰 編 チーム・ロケットスタート 著 出版社 明治図書

#### 12か月を支えるスキル&アイデア大集合!

年度はじめの学習規律指導スキル、学習環境を整えるミニグッズ、授業中の困ったこんなときの対応スキル、教科別・楽しく学べる授業ネタのオンパレードと、授業時間が充実し、子どもが学びたくてたまらなくなる、1~6年生に即効のスペシャルスキルが60集められています。

これまで刊行されたロケットシリーズのエッセンスがぎゅっと濃縮された本です。

新年度の準備の手助けになる本です。



『小学校 ちょっとで効果じわじわ 授業がうまくいくアイデア100』 ちょこっと Lab 著 出版社 明治図書

指導アイデアを100モノにしたら、授業の腕があがる! 活躍する先輩がもっている、ちょっとした、でも、確実に じわじわと効果がでる指導アイデアを豊富に紹介。こんな時 どういう意図で、その指導スキルを用いるのか…パッとビジュアルにわかります。明日からすぐにクラスで取り組め、先 生の授業の腕をあげます。

この本は、全国で活躍されている先生方が何気なく使っている、一見ささやかな、でも効果がじわじわと効いてくるちょっとした指導のアイデアが集められています。